東京都教育委員会では
働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

学校において、先生たちが生き生きと働きながら、一人一人の子供たちと向き合っていくことが、教育の質の向上のためには大事なことです。

そのため、東京都教育委員会では、平成 30 年 2 月に策定した「学校における働き方改革推進プラン」等に基づき、先生たちの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいを持って働くことができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

今後も、先生たちが心身共に充実した状態で子供たちの指導に当たることができるよう多様な取組を推進し、教員の負担軽減を図っていきます。

《主な取組内容》

◆各学校において、長期休業期間中における学校閉庁日の設定と定時退庁日の取組など、メリハリのある働き方を推進しています。

◆様々なシステムを活用して、仕事の効率化、負担軽減、ペーパーレス化に取り組んでいます。

◆部活動指導員の配置を進め、専門的な技術指導や休日の大会引率等を担わせることにより、顧問の負担軽減を図っています。（令和5年度予算規模　中学校：612人　都立学校：800人）

◆スクール・サポート・スタッフの配置を進め、学習プリント等の印刷作業を分担するなど、教員のサポートを強力に推進しています。（令和5年度予算規模　小・中学校1,971人）

◆スクールカウンセラー等の専門スタッフの配置を進め、「チームとしての学校」の体制を整備しています。

◆東京都教育委員会が設立した公益財団法人東京学校支援機構（TEPRO）が、スクール・サポートスタッフや部活動指導員等の学校が必要とする人材の紹介（小・中・都立学校対象）、学校の懸案事項についての法律相談窓口の設置（都立学校対象）などにより、先生たちを支援しています。 http://www.tepro.or.jp/

◆自信を持って教員生活を送ることができるように、充実した研修とサポート体制を整えています。

◆「学校における働き方改革推進プラン」について（平成30年2月公表）
https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/02/08/07.html

◆令和4年度の学校における働き方改革について（令和5年2月公表）
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2023/release20230216_05.html